

桜の庄兵衛

information vol.39

出演

ボーカル 松田 美緒
マカフェリギター 川瀬 眞司
7弦ギター 山田 裕

プログラム

Lua na Chuva (雨降りお月様)
Lisboa Cidade (リスボン・私の町) — ファド
Romaria (祈り) — ブラジル曲
Saiko (さいこう) — カーボ・ヴェルデの曲
Igunoporu (イダノボール) — オリジナル
他

プロフィール

松田 美緒

1979年秋田県生まれ、九州・京都育ち。幼少時代より世界の音楽に慣れ親しむ。
19歳の頃、ポルトガルのファドに自己表現の形を見だし、歌い始める。2002年よりポルトガル訪問を重ね、2003年、1年間ロータリー財団の奨学生としてリスボンに留学、本場でのファドを習得。
2004年、ブラジルでの音楽祭にポルトガル代表グループのヴォーカリストとして出演するほか、大西洋の諸島国カーボ・ヴェルデに歌手として1ヶ月滞在以後、活動の拠点をブラジルに移し、ファーストアルバム『アトランティカ (Atlantica)』をレコーディング。
2005年8月ビクターよりリリース。2006年11月にはセカンドアルバム『ピタンガ! (Pitanga!)』をリリース。
現在、日本、ブラジル、ポルトガル、アンゴラ、東欧など様々な地域のアーティストと共に独自の音楽世界を構築中。

<http://www.miomatsuda.com/>

2月11日(日・祝)

● 昼の部 午後1時開演(午前12時30分開場)

● 夕の部 午後4時30分開場(午後4時開場)

春へのあこがれコンサート

桜の庄兵衛が、さまざまな芸術をともしに愉しむ催しを初めて、九つめの春を迎えました。いつの季節も、みなさまの笑顔やさざめき、拍手に満たされることで古き庄屋敷は、今も生き続けているのだと感じることができました。そんな感謝の気持ちをこめまして、今年初めてのコンサートも、歌の名手をお迎えします。日本からは遙か遠いのに懐かしさがこみあげてくる国、ポルトガル。その国のファドに惹かれてポルトガルへ渡った松田美緒さんです。大西洋を越えて、ブラジルのサンバやボサノバ、カーボ・ヴェルデのモルナとポルトガル語圏の音楽に魅了され、今ではポルトガル語の作詞まで手がけられます。桜の庄兵衛出演後はすぐにブラジルとか。この機会にぜひ、美緒さんの豊かな歌声に触れてください。



桂吉弥さんと言えば、何年か前、やはりこの岡町で開かれた「九雀・吉弥二人会」以来。その時は、九雀さんの存在感の陰に隠れて、これからの人という印象だった。が、今回の落語ライブでは目を見張るほどの進歩の跡がうかがえた。噺に色気と艶がある。人物描写と間に妙がある。トントーンと早口でたたみかける所は江戸前の気っぶの良さと粋がある。という具合なのだ。

当日は、「奥野さんちで落語があるから、ちょっと散歩がてら行ってくるワ」といった調子でふらりと桜の庄兵衛へ。小春を思わせる陽気な落語日和で、「そのお天気の陽オ～気なことオ～」…、トチトン、シャント…と心中のお囃子に浮かれだしたくなる散歩道だった。

『住吉駕籠』『七段目』『狐芝居』『かぜうどん』と昼夕通して聴いた。『住吉駕籠』『七段目』が観客を爆笑に誘い、『狐芝居』『かぜうどん』が、じっくり噺を聴かせるといった塩梅であった。

今は昔、桂枝雀さんの落語を聴いて、笑いが止まらないのにクシャクシャの泣き顔になるという「爆笑症候群」に襲われることがよくあった。今回の『住吉駕籠』も、一癖ありそうな駕籠かきが、茶店の亭主や酔っ払いや悪戯好きな堂島の相場師たちに散々からかわれる噺だが、これが大爆笑モノで、もう少して「爆笑症候群」に

襲われるところだった。イヤ笑った、笑った。また、『かぜうどん』では、噺の上手さもさることながら、うどんの熱い汁を飲んだり、うどんを吸ったりするズルッ、ズルズルズルッという描写音が、どうしてなかなか。聴く者をして、「寒い冬の晩に熱いうどんを吸る幸福感と暖かさ」を実感させてくれた。これもまた落語を聴く醍醐味の一つでもあろう。

『七段目』『狐芝居』では、役者役の台詞回しや間が堂に入っていて独特の味があり、NHKの「新撰組」に出演されていたというのが頷ける出来ばえだった。

さて、ジーパン姿の普段着に戻った素顔の吉弥さんは、ハンサムな好青年。まだ三十五歳だ。この世界は、五十代でも若手と言われるくらいで、三十五歳は出色の若さだろう。噺家の出雅子は皆決まっているそうだが、吉弥さんのそれは何と「青い山脈」で、ここにも現代青年の一端が伺える。

昼の部の幕間に、後ろの席の人が、「もう十年たったら、この人(吉弥さん)の時代になるで」と隣の人と喋っていたが、今回の公演は、「もう大化けの衣を脱ぎつつある」「米朝落語の正統な後継者の一人」—そんな予感を抱かせる出色のライブだった。

前座の桂まん我さん、三味線の石川裕美子さんもそれぞれ頑張っておられた。お疲れ様でした。



<http://www.syoubei.com> 桜の庄兵衛ギャラリーのホームページです。ぜひご覧ください。

●春へのあこがれコンサート お申込み要領

お問い合わせは 06-6852-3270 (奥野) まで
※お電話は、9:00～12:00の間でお願いいたします。

参加費

¥2,500
※当日、会場受付にてお支払いください。

定員

90名・全席自由席
※定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにご予約ください。

会場

桜の庄兵衛ギャラリー
豊中市中桜塚2-30-35
TEL 06-6852-3270
阪急宝塚線「岡町駅」下車・徒歩約8分

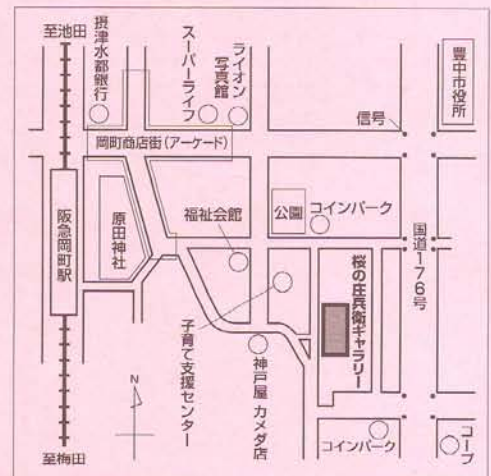
1 申込方法

官製ハガキに下記の必要事項をご記入になり、お席をご予約ください。
※グループでお申込みの場合、代表の方がお申込みください。

宛先	ご記入事項
561-0881 豊中市中桜塚 2-30-35 桜の庄兵衛 宛	<ul style="list-style-type: none"> ●ご氏名(ふりがな) ●ご住所(郵便番号) ●お電話番号 ●ご希望の時間帯 昼の部または夕の部 ●ご参加人数(計〇名) ●グループ全員の ご氏名(ふりがな)

ご予約を受付次第、ハガキでご返信申し上げます。
※グループでお申込みの場合は、代表の方にのみご返信申し上げます。

代表者以外の方は、
当日受付にご氏名を
お告げください。



2 申込方法

ファックスでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、ハガキにてご返信申し上げます。

ファックス番号 06-6852-3270

3 申込方法

インターネットでもお申込みいただけます
※上記と同じ内容をご送信ください。ご予約を受付次第、e-mailにてご返信申し上げます。

e-mail address syoubei@tcct.zaq.ne.jp